

開催日時・対象者

- 5月11日（木） オークランド日本人会
5月25日（木） オークランド日本経済懇談会（二水会）

主な議題

- （1）総領事挨拶
- （2）ゴルゴ13中堅・中小企業向けマニュアル紹介
- （3）世界のテロ情勢
- （4）ニュージーランドにおけるテロ・一般安全事情
- （5）たびレジ紹介
- （6）意見交換

当館からの説明

（1）冒頭横山総領事から、安全対策連絡協議会開催の意義について説明するとともに、昨年に続く開催となる本協議会を当館として重視しており、関係者との情報共有及び安全対策をお願いしたい旨述べた。

（2）続いて担当者から、概要以下の通り説明した。

- ・外務省は在外邦人の安全対策指南役として、人気漫画主人公のゴルゴ13に協力を要請した。外務省や在外公館のホームページにてゴルゴ13が登場する安全対策マニュアルが掲載されている。是非目を通してほしい。
- ・引き続き、世界各地でイスラム過激派によるテロの脅威がある。ニュージーランドではテロを関係がないと思いがちであるが、今年2月の議会における施政方針演説でイングリッシュ首相は「NZにおいてはイスラム国によるテロの脅威は依然として低い、テロの脅威の対象外ではない」と発言しており、ニュージーランドではテロはないとは言い切れない。
- ・海外において日本人が巻き込まれる犯罪被害のうち窃盗が7割を超える。当館に寄せられる相談も窃盗被害が大部分を占める。ニュージーランドでは窃盗が非常に多く検挙率はたったの9.3%（日本の検挙率は8割以上）という残念なデータもある。予防に力を入れていただきたい。
- ・たびレジは海外滞在中に現地の在外公館から緊急情報を受け取れるシステムである。ニュージーランドに住む日本人であっても、オーストラリアなど海外に渡航する際は是非利用していただきたい。

オークランド警察 日本人警官遠藤氏から説明

＜5月25日、スピーカーとして出席＞

(1) 警察では犯罪を未然に防ぐ「予防第一」を優先課題としている。矯正省は2016年12月時点の収容者を男性9,219名、女性695名としているが(人種の内訳はマオリ系が50%、欧州系32%、太平洋島嶼国系11%)、一人あたりの年間コストは94,000ドルにも及び、刑務所費用の削減は急務である。できるだけ多くの予算を安全対策に回す意味でも「予防第一」は重要である。

また、ドメスティックバイオレンス(DV)案件に如何に介入し被害者の状態を良くしていくかなど、被害者サポートも課題の一つである。警察では、各政府機関やNPOなどと協力し、対策に取り組んでいる。

(2) 警察にかかってくる電話の6割がDV関連である。マオリや島嶼国人からの相談が圧倒的に多い。

(3) 2016年3月から2017年3月、オークランド全体で約10万件の犯罪被害者数が報告されている。この数字は過去10年一進一退。

約10万件の内送検に至ったのは約10%、残りは未解決か捜査中である。被害の種類としては窃盗、強盗、DVなど暴力被害の順に多い。

同期間誘拐(親権を争う父母間の連れ去りも含む)は39件起きている。この数は決して少なくなく、被害者のケアが非常に難しいケースである。

(4) 盗難被害は深刻である。特に12月~1月はクリスマスホリデーで空き家が多くなり事件が多くなる。対策としては、①監視カメラの設置、②警備会社のステッカー掲示、③お店であればディスプレイ方法の改善、または疑わしい者を立ち入り禁止とする「Trespass Notice」を申請すること。

(5) 車両の盗難被害も多い。盗賊グループの中では、キーを使わないエンジン直結のノウハウが知られているようで、腕が立つ者はたった30秒で車を盗めるという話もある。盗難車は乗用として、または強盗用として使われることになる。

(6) 加害者の年齢内訳をみると、15歳~35歳の割合が非常に大きい。特に17歳以下は法によって守られるため、犯罪を犯しても裁かれないことが多い。このため再犯防止が大きな課題。

(7) 日本人被害者の特徴として、すぐに通報しないことが多い。次の日にする、ホストファミリーに相談してから通報するなど、こうした行為は事件の解決を難しくするので、できるだけ早い通報をお願いしたい。

(8) ニュージーランドにおける昨年の交通事故死亡者は336人。今年は4月の段階で昨年より多いペースとなっている。ワイン2杯程度までは許されると言うが、死亡事故を扱いそのつらさをよく知っている立場からすれば、飲酒運転はお勧めしない。

出席者からのコメント・Q & A

(1) 6年前のカンタベリー大震災の際、大使館と連携を取りつつ邦人の安否確認に携わったことがあるが、その経験から、在外公館と日本人コミュニティの平時の連携が重要と考えている。今回のような安全対策連絡協議会の継続をお願いしたい。

(2) ニュージーランドに暴力団はいるのか？(Head Hunters というギャングが有名。バイクユニフォームに同グループの刺繍があれば、尋問の対象となる。)

(3) オークランド市内で車両盗難が多いのはどこの地域か。(パーネル、ニューマーケット、オークランド病院近くの暗い路上。駐車する際は立体駐車場がお勧め。)

(4) 親が子どものお尻をたたくなど、日本ではそうでなくともニュージーランドではDVに該当するケースがある。警察はどこで線引きするのか。(通報があった場合、警察は情報提供者、近所などで事情を聴取し調書を作成。ケースによって判断が異なる。)